

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BK10	観光社会学	観光についての批判的まなごしを育む	濱 雄亮	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	社会学・相対化・伝統の創造・ポストモダン・格差・メディア（化）		
ディプロマポリシーとの対応	2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目	観光学概論、観光関係法規、旅行実務論、観光地理、観光文化資源論				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	「観光」について、主に社会学（部分的に文化人類学・民俗学など）の知見に基づいて批判的に理解することを目的とします。「**という観光が良いのだ／悪いのだ」という常識的なものの見方がどのようにして生まれるのか、その背景にある問題は何かなどを探ります。卒業論文で観光をテーマにする予定の人に、観光を分析する学問的視点を提供します。				
到達目標	経済的価値や娯楽的価値などに基づいた常識的なものの見方を離れて、経済的価値や娯楽的価値の枠組自体を分析対象として意識できること。具体的な観光現象について、学問的・批判的に簡単な分析ができること。				
講義内容	観光現象の歴史の紹介、観光社会学のキーワード・理論の紹介（なるべく具体例に基づく）、観光地のあり方についての観光社会学的分析例の紹介、観光現象の現代的展開と課題の紹介という流れです。予備知識はとくに必要ありません。以下の「内容」欄のキーワードは特殊なものばかりなので、知らなくても全く問題ははありません。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	観光社会学とは？	観光社会学という領域の特徴・歴史		
	第2講	観光の歴史(1)	日本における観光の歴史		
	第3講	観光の歴史(2)	欧米などにおける観光の歴史		
	第4講	観光社会学のキーワード(1)	ホスト／ゲスト、フォークロリズム、真正性、伝統の創造		
	第5講	観光社会学のキーワード(2)	疑似イベント、文化の客体化、本質主義と構築主義		
	第6講	観光社会学のキーワード(3)	ディズニーランド化、ポストコロニアル、ポストモダン		
	第7講	観光社会学のキーワード(4)	マンガ・アニメの聖地巡礼（鷲宮・秋葉原など）、モビリティ		
	第8講	観光地の社会学的分析(1)	文献調査・現地調査の方法、日本イメージとガイドブック		
	第9講	観光地の社会学的分析(2)	ふるさと・古代イメージと観光（遠野・奈良など）		
	第10講	観光地の社会学的分析(3)	観光化に伴う祭りの変化、被災地ダークツーリズム（東北）		
	第11講	観光地の社会学的分析(4)	南・東南アジアにおけるエスニック・ツーリズム		
	第12講	観光地の社会学的分析(5)	日本におけるハワイの位置づけの変遷		
	第13講	観光の現代的展開と課題(1)	メディカル・ツーリズム、福祉と観光、感染症と観光		
	第14講	観光の現代的展開と課題(2)	メディア・SNSと観光、観光従業員の感情労働、自分探しの旅		
第15講	観光の現代的展開と課題(3)・総括	近代化・メディア化と観光現象の相互影響関係など			
指導方法	講義形式です。動画・写真・映画も用います。「**と聞いて思いつくこと」などをその場で聞きその答えを即興で講義に生かすこともあります。毎回、感想・意見記入などの授業内課題を課します。				
事前学習	シラバスに挙げられている項目について事典・書籍・信頼できるウェブサイトによって概要を調べて下さい。自分や家族の経験を振り返ることも有用です。1時間30分程度の学習時間が目安です。				
事後学習	授業中に紹介した書籍や配布物の読解や、関連映像の視聴をして下さい。心理的に支障のない範囲で自分の観光経験を振り返ることも有益です。1時間30分程度の学習時間が目安です。				
成績評価方法	平常点（授業内課題）：60%、本試験（レポート）：40%。				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	授業内課題は原則として次の授業時に解説・補足説明を行います。				
テキスト	用いません。紙やpdfの資料を教室やclassroom上で配付します。				
参考文献	市野澤 2022『基本概念から学ぶ観光人類学』ナカニシヤ出版、岡本 2015『聖地巡礼』中央公論新社、須藤ほか 2018『観光社会学 2.0』福村出版、安村ほか 2011『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房、など				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項	観光業の潮流の変化やこの分野の研究の進展によって、順番や内容を一部変更する場合があります。				